

# 経済産業部

## 地域資源活用プログラムに係る事業計画第3号を認定 ～ 中小企業者による地域資源活用事業の推進 ～

### Point

沖縄総合事務局では、地域の中小企業の知恵とやる気を活かし、魅力ある地域資源を活用し地域を元気にすることを目的とした地域資源活用プログラムを推進しています。平成19年10月12日に第1号認定として9件、平成19年12月14日には第2号認定として3件の地域産業資源活用事業計画を認定しており、それぞれの中小企業者では新商品・新サービスの開発に取り組んでいます。また、平成20年3月12日に、第3号認定として10件の地域産業資源活用事業計画を認定しましたので、その事業概要を紹介いたします。

### 1 地域資源活用プログラムとは

「中小企業地域資源活用促進法」に基づき、沖縄県は、基本構想として、沖縄県の特徴ある地域資源として、農林水産物(40品目)、鉱工業品及び鉱工業品の製造技術(32品目)、観光資源(172品目)の合計244品目を指定しています。(平成19年12月26日現在)

地域資源活用プログラムは、地域資源を活かした自立的・持続的な成長、それを核とした地域資源の価値向上(ブランド化など)、地域の強みを活かした産業の形成・強化などに資する地域経済の主体である中小企業の創意ある取組を支援するプログラムです。

このプログラムは、中小企業者が地域資源を活用して行う新商品・新サービスの開発に対する市場調査、商品企画・開発・事業化、販路開拓に必要なノウハウや人的ネットワーク、資金・人材の確保などのサポートを関係省とも連携して総合的に支援

### 2 第3号認定の決定!

平成20年3月10日、平成19年度第3回地域産業資源活用事業評価委員会が開催され、沖縄地域からは平成20年3月12日付けで10件の地域産業資源活用事業計画が認定されました。

(※)「中小企業地域資源活用促進法」

中小企業地域資源活用促進法は、地域資源を活用した中小企業者の取組に対し、専門家の派遣や、税制・金融面を始めとする総合的な支援措置を行い、地域産業の自立的発展の基礎を強化することを目的とし、平成19年6月29日に施行されました。

平成19年度 第3号地域産業資源活用認定事業一覧(H20.3.12認定)

企業名	事業概要	地域資源
1 株式会社伊江島物産センター	地域内で生産される高品質の農水産物(べにいも、鳥らっきょう、ハイベスカス等)を活用した新商品開発を行う。具体的には、チョコレート等の菓子製品やドレッシング、カレー等の食品加工品及びシャンプーなどの生活用品を開発する。また、観光資源を活用した観光プログラムの開発も行い、製造業と観光産業が連動した総合的な伊江島ブランドの構築をめざす。	沖縄県野菜(紅いも、鳥らっきょう、冬瓜)、ハイベスカス、和牛、トコナシ(農林水産物)、沖縄黒糖(鉱工業品)
2 農業生産法人有限会社月桃茶家	沖縄の地域資源である沖縄の海塩と沖縄産植物の機能性・効能を活かし、老人や子供をターゲットとした口腔化粧品(洗口液)を開発する。具体的には、老健施設、学校施設等を中心とした大量消費向けの商品開発を行うほか、一般消費者向けにもニーズ調査等を行い、TPOに応じた容量、形態等を検討していく。	ハイベスカス、薬用作物(月桃)(農林水産物)、沖縄の塩(鉱工業品)
3 ゴーヤカンパニー有限公司	ゴーヤの栄養素・効用を生かすまでもしくは長期保存を可能にする独自の技術を活用した「ゴーヤペースト」を用い、新しい発想でかつ使い勝手がよい「生野菜調味料」の開発を行う。また、従来のものよりも鮮やかな色合いが実現するもの(カシエー)を活用したドレッシング及び汎用調味料の開発を行う。	ゴーヤ(農林水産物)、沖縄の塩、沖縄黒糖、琉球泡盛(鉱工業品)
4 株式会社沖縄ティーファクトリー	「琉球紅茶」は一部愛好家の間で認知度が高まっているが、新たなターゲット拡大を図るために、琉球紅茶に沖縄の地域資源であるハイベスカス、コラーゲン等をブレンドした特色のある商品を開発する。具体的には琉球チャイシリーズ、琉球の花紅茶シリーズ、琉球の美肌紅茶シリーズと銘打って、多様なニーズに対応する商品開発を行う。	茶、豚、ハイベスカス(農林水産物)
5 株式会社日清	一般にパン加工品は添加物や極端な高糖度添加により、細菌を抑制し鮮度保持を優先する結果、素材本来の味が損なわれている。本事業は、独自の技術を活用しパンを無添加無着色で加工するものである。具体的には、カットパンが入ったパンジュース、ホットパンジュース及びカットパンゼリーの開発を行う。	パンアップル(農林水産物)
6 株式会社アイフィンガー	沖縄の伝統工芸を活用した沖縄らしい沖縄のリゾート気分を盛り上げるアイテム(履き物)の開発を行う。具体的には、琉球サンダル、草木染めサンダル、琉球ガラスサンダル、かりゆしシューズ及びヤチムサンダルを開発し、商品の多様化を図る。	薬用作物(月桃)(農林水産物)、首里織、琉球びんがた、読谷山花織、琉球ガラス、琉球焼、かりゆしウェア(鉱工業品)
7 有限会社TILLA EARTH	これまでに開発したバッグや小物等の技術/ノウハウを活かし、地域資源である石垣牛の革や八重山ミンサーなどの伝統工芸技術を活用した商品の開発を行う。機能性、ファッション性に地域素材にこだわった「地域ブランド」を掛け合わせた商品展開を図る。	和牛(農林水産物)、八重山ミンサー、八重山上布(鉱工業品)
8 ペナスタス株式会社	これまでの商品企画実績・OEM受託実績及び技術/ノウハウを活用し、地域素材及びパッケージデザインに重点を置いたアピール力のあるバスグッズの開発を行う。エコロジー、スローライフ、ロハス及びバスにのびるニーズが高まっていることに着目し、具体的にはバスドレッシング、新たなハンドメイド石鹸、黒糖シュガースクラブ、マッサージソルト等の開発を行う。	シークァーサー、マンゴー、パイナップル、ハイベスカス、薬用作物(月桃、ウコン、グァバ)(農林水産物)、沖縄黒糖、沖縄の塩、海洋深層水、クチャ(泥岩)(鉱工業品)
9 今帰仁ブランド協同組合	平成18年度からスタートしている今帰仁ブランドの開発育成を拡充・推進するため、市場ニーズの深掘り等を実施し商品改良を行っていくことに加え販売手法についても検討を重ねる。また、地域内に存在する体験型観光メニューを体系化し、ニーズに合ったメニューを提供できるオーダーメイド型の体験型観光プログラムを開発する。また、加工品と観光産業のリンケージによる今帰仁ブランドの確立をめざす。	豚、ハイベスカス、沖縄県野菜(クワンソウ、野菜/パイナップル、マンゴー、パンアップル、農林水産物)、沖縄黒糖(鉱工業品)、やんばるの森、琉球王国のガラス及び関連産業(観光資源)
10 琉球真珠株式会社	真珠養殖に対する理解度を向上し、さらに海洋環境問題や漁業に対する意識高揚を図ることを目的として、国内唯一である当社の黒蝶真珠の採核技術を体験する観光プログラムを開発する。主に修学旅行や家族連れをメインターゲットとし、真珠の成長過程を確認するためのリピーターの増加(八重山観光客の増加)にも資するものと期待している。	黒蝶真珠(鉱工業品)、黒蝶真珠養殖場(観光資源)

中小企業庁ホームページ▶<http://www.chusho.meti.go.jp/>  
 地域資源活用チャンネル▶<http://j-net21.smrj.go.jp/expand/shigen/index.html>  
 沖縄総合事務局経済産業部地域資源ホームページ▶<http://ogb.go.jp/move/chikishigen/>